



アーケードを全力疾走!

渋谷センター商店街とのつながりで実現! 老若男女 楽しみながら50m走

7月23日、四ヶ町アーケードで、50mを全力疾走するイベント「ZENRY OKU(ゼンリョク)50」が行われ、多くの買い物客などが見守る中、1歳から68歳の市民約200人が参加し、タイムを競いました。これまで全国40カ所で開催されているこの催しは渋谷区に事務局があり、今回は本市出身で渋谷センター商店街振興組合の小野寿幸理事長が故郷佐世保での開催を提案し実現されました。させほ四ヶ町商店街協同組合と姉妹商店街である渋谷センター商店街振興組合では、これまでも電照看板での



九十九島PRなど、佐世保の観光振興に大勢尽力いただいています。開会式では、朝長市長が「成長可能性都市ランキング」野村総合研究所で本市が全国10位になったことを紹介し、「佐世保は多様性を受け入れる風土が全国3位となっております。今後の成長を期待される大きな要因となっております。新しいことも積極的に受け入れ、楽しむことができる土地柄なので、きょうもみんな楽しんでみましょう」とあいさつ。その後、市長自らも50mを疾走して、会場は大いに盛り上がりました。

アーケード内に設置されたコースは長さ50m、幅1・8m。日頃の練習の成果を発揮しようと柔軟運動に余念がない人やピエロの仮装をした人など、多くの参加者がスタート地点に並び、係員の合図で順番に一人ずつスタートしました。観衆の大きな声援を浴びながら、6秒台の記録を出しガッツポーズをする人や泣き出した子どもの手を引きながら走る人、中には気合いが入りすぎて派手に転倒する人など、参加者それぞれの走りでも駆け抜けましたが、ゴール後は皆さん一様に笑顔で、1日限りの特別なコースを十分に楽しめたようでした。



(写真上から)
渋谷センター商店街振興組合・小野理事長(左)とさせほ四ヶ町商店街協同組合・竹本理事長/スタート地点に設置された記録用の電光掲示板/記念写真用のボードの前で自分の記録が書かれた紙にする参加者

